

熊本大学附属図書館報

# 東光原

Kumamoto University Library Bulletin

ISSN 0917-7604

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/tokogen/>

# 47

March 2007

## 図書館ガイドダンス〜どいぞー!

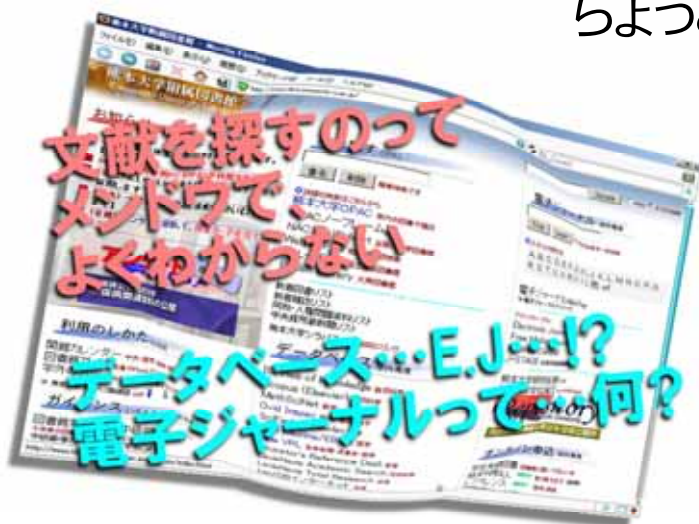
シリーズ研究の周縁より データベースと人間  
CSI事業と学術機関リポジトリの構築  
最近寄贈された本学教員の著書



特集 図書館ガイダンスへどうぞ！

# 必要な資料や情報をきちんと探せていますか？

ちょっと自信がないという方は、  
図書館ガイダンスへ!!



図書館は気軽に誰もが利用できる場所です。入学から卒業するまでの在学中はもちろん、卒業後は一般市民として、学習・調査・研究のサポートが受けられます。

## あなたは図書館を有効に活用している自信がありますか？

試験勉強やレポート提出のときに座席があればいい…とか、本や雑誌を読むだけ…と考えていませんか？

高校までと同じようなレベルで満足だったら、図書館ガイダンスは入学したばかりのときに一回だけ受けておけばOKかも…？ わざわざ新入生用のガイダンスを受けなくても、周囲を見ていれば利用できるようになりそう…ですか？

たとえば熊本大学には一生かかっても読みきれない130万冊の蔵書があります。この中から自分に必要な図書や雑誌を探すためにOPACがあるのはもうご存じですね。でも使い方はマスターできていますか？そのほかに、もっと専門的なデータベースの検索や利用方法も知りたいと思いませんか。

大学では、一人ひとりが目的を持ち、調査・研究をすすめることが求められています。

## インターネットで検索し、その情報のみを使ってレポートや論文を書いていますか？

Yahoo!やGoogle等の検索エンジンを使ったインターネット上の情報だけで、学術的な問題も解決できると勘違いしている方、あなたにはぜひ、図書館ガイダンスを通じて、図書館の存在と情報の有効性を再確認してもらいたいと思います。

図書館ガイダンスで実習に使うデータベースも次々と新しくなっています。18年度に図書館ガイダンス中級編を受講した方も、19年度の在学生用の図書館ガイダンスに参加することで、新たな発見がきっとあるでしょう。新年度は図書館ガイダンスで自学・自習のスタートを切ってください。

図書館ガイダンス会場にて、お待ちしております。

## 平成19年度図書館ガイダンスの開催計画(4~5月)

### 新入生の方へ

- ❁ 大学生活の第1歩は図書館から♪
- ❁ シラバスの参考書もここに 있습니다。

### 新入生のための図書館利用ガイダンス

Welcome to Kumamoto University Library

入学式の翌日から開催します♪

期間：平成19年4月5日(木)~13日(金)

場所：附属図書館中央館

❁ 熊本大学の図書館を初めて利用される方へ

❁ 30分でわかる最初のガイダンスです。

❁ さまざまなニーズにお応えします。

実際に館内を回って見れたのがよかった。

図書館の仕組みをよく理解できた

地下書庫まで見ることができ、やはり案内してもらえる『図書館ガイダンス』を受講してよかったと思った。

\*18年度新入生ガイダンス受講者の感想より

図書や新聞・雑誌の検索から閲覧室  
配置場所の紹介、図書館員による館内  
ツアーにご参加ください。



## 在学生の方へ

❁18年度までの“中級編ガイダンス”を内容ごとに分けて開催します。

### 文献検索ガイダンス

■ 国内の文献を探そう！

期間：平成19年5月中旬(予定)

会場：附属図書館中央館

- ≡ 文献検索のコツをPCで実習します♪
- ≡ 必要なツール（データベース）のご紹介
- ≡ 学外の文献入手はオンライン申込から

ご希望によりScopusを利用した海外文献検索もできます。事前にご連絡ください。

レポートや授業のための文献検索が、今までよりスムーズにできそう。

たくさんあるデータベースのうち、どれを使えばいいのかが分かったので、良かった。

大学院にも論文検索の方法を知らない人が多いと思いますので、今後も継続していただけるとありがたいです。

### 新聞記事検索ガイダンス

■ 過去の記事を探そう！

期間：平成19年5月中旬

会場：附属図書館中央館

- ≡ 新聞は毎日“読んで終わり”になっていませんか？
- ≡ 新聞記事も過去に遡って探せます♪
- ≡ 朝日新聞・熊本日日新聞を利用します

ガイダンスを受けることができ、本当に良かった。知らないことばかりだったので、今まで損していた気分です。

\*18年度中級編ガイダンス受講者の感想より



## 平成18年度図書館ガイダンス報告

平成18年度の図書館ガイダンスは、入学時に実施する“新入生対象ガイダンス”と、在学生向けの“中級編ガイダンス”を実施しました。中級編ガイダンスでは、Ⅰ. 所蔵を探す、Ⅱ. 雑誌論文を探す、Ⅲ. 新聞記事を探す、の3コースを開催しました。この中級編ガイダンスは受講した方からは大変好評を得ていますが、中級編という名称のもと3コースに分かれているため、ガイダンスの目的がわかりにくいとの指摘があり、19年度からは名称を変更することにしました。内容もよりわかりやすくリニューアルします。

その他、授業支援では、基礎セミナーの1コマを“図書館活用法”として実施しました。新入生対象ガイダンスと基礎セミナーを合わせると、70%近くの新入生が基本的な図書館利用法を知ったこととなります。また教員からの要望がある場合は、講義室へ出向き説明を行いました。

### 平成18年度開催ガイダンス一覧

#### ▶ 講義に関連した情報リテラシー

項目	対象	期間	回数	参加人数
基礎セミナー【前期】	学部1年生	4月20, 21, 27, 28日	7回	754名
工学部「材料科学実験第一」講義	学部2年生	10月11日	1回	40名(概数)
基礎セミナー【後期】	学部1年生	10月12, 13日	3回	112名

#### ▶ 中央館主催のガイダンス・講習会

項目	対象	期間	回数	参加人数
新入生ガイダンス	学部1年生, 編入生等	4月5～14日(平日8日間)	33回	570名
Web of Knowledge利用説明会	全学生, 教職員	4月19日	1回	70名
ゼミガイダンス【法律関係】	学部3年生	5月12日	1回	4名
中級編ガイダンス第1回【所蔵】	全学生, 教職員	5月23日～6月6日	3回	13名
中級編ガイダンス第1回【雑誌】	全学生, 教職員	5月23日～6月6日	11回	87名
中級編ガイダンス第1回【新聞】	全学生, 教職員	5月23日～6月6日	4回	22名
中級編ガイダンス第2回【雑誌】	全学生, 教職員	12月1～5, 8～12日	6回	12名
中級編ガイダンス第2回【新聞】	全学生, 教職員	12月6～7日	4回	9名
中級編ガイダンス【新聞・雑誌】	社文研ゼミ学生	12月7日	1回	9名

#### ▶ 各分館主催のガイダンス・講習会

項目	対象	期間	回数	参加人数
医学系ガイダンス：医学系分館	大学院生(新)	4月7日	1回	22名
薬学部ガイダンス：薬学部分館	薬学部4年生	4月18日	1回	40名(概数)
Web of Knowledge利用説明会：薬学部分館	薬学部4年生, 大学院生, 教職員	4月19日	1回	40名(概数)
SciFinder Scholar利用説明会：薬学部分館	薬学部4年生, 大学院生, 教職員	4月20日	1回	70名(概数)

## 最近寄贈された本学教員の著書

—中央館の本学教員著作物コーナーをご覧ください—

### 甲元眞之 (文学部)

東北アジアの青銅器文化と社会 / 東京 同成社 2006.3

Krounovka 1 site : excavations in 2002 and 2003 / [Vladivostok] Institute of History,  
Archaeology and Ethnography of the Peoples of the Far East, Russian Academy of Sciences, Far Eastern  
Branch 2004

Zaisanovka 7 site : excavation in 2004 / [Kumamoto] Department of Archaeology, Kumamoto University  
2005

### 西川盛雄 (教育学部)

英語接辞研究 / 東京 開拓社 2006.10

### 春田直紀 (教育学部)・稲葉継陽 (大学院社会文化科学研究科)

中世景観の復原と民衆像 : 史料としての地名論 / 福岡 花書院 2004.6

### 吉永誠吾 (教育学部)

音楽とコミュニケーション / 熊本 熊本日日新聞情報文化センター(制作) 2006.3

### 岩岡中正 (法学部)

石牟礼道子の世界 / 福岡 弦書房 2006.11

### 吉田 勇 (法学部)

法化社会と紛争解決 / 東京 成文堂 2006.10

### 小野友道 (名誉教授)

人の魂は皮膚にあるのか : 皮膚科医から見た、文学・人生・歴史 / 東京 主婦の友社 2002.7

木下空太郎と熊本 : 「五足の靴」天草を訪ねる / 熊本 熊本日日新聞社

ハンセン病アトラス : 診断のための指針 / 東京 金原出版 2006.5

大学と地域形成 : 大学政策シンクタンクの挑戦 / 福岡 九州大学出版会 2006.6

### 工藤敬一 (名誉教授)・春田直紀・稲葉継陽

阿蘇家文書修復完成記念阿蘇の文化遺産 / 熊本 熊本大学 : 熊本県立美術館 2006.9

### ロバート・クラウダー (米国)

わが失われし日本 : 五高最後の米国人教師 / 福岡 葦書房 1996.4

### 表紙の言葉

今号の表紙写真は、旧制第五高等学校最後の外国人英語教師であったRobert Crowder氏の著書「わが失われし日本」です。

シリーズ 研究の周縁より

# データベースと人間のあいだ

大塚 雅 巳

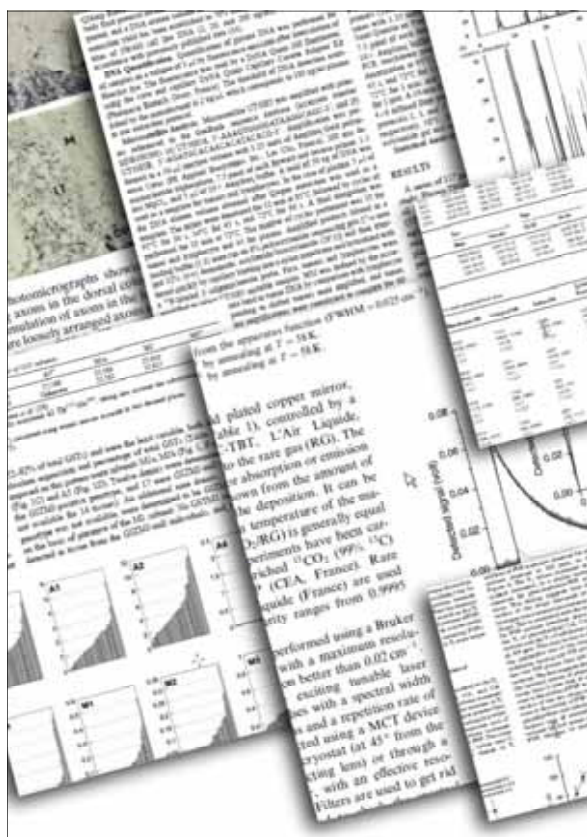
私は大江キャンパスにある薬学系の研究室で「生体機能分子合成学」という研究を行っている。簡単にいえば「薬として効きそうな化合物」を作る研究である。なぜ「効く化合物」ではなくて「効きそうな化合物」なのかというと、その化合物を実際に合成して効き目を調べてみないと本当に効くかどうか分からないからである。いろいろな化合物を合成してそれが効くかどうか調べるのだが、本当に効く化合物は1000のうち3つぐらいである。なぜ初めから効く3つを作らないのかと人は思うだろうが、試行錯誤で1000ぐらい作ってみないと効くものに到達しないのである。効くかと思われた有望化合物が薬理活性や副作用などを詳

細に検討していくうちに途中でドロップアウトしていくことは日常茶飯である。といっても効かなかった化合物が無駄になったわけではない。1000のうちの効いた3化合物は、効かなかった997化合物をもとに、どうすれば効くようになるかと知恵をしぼって作ったものであって、3のなかには997から得られた知見が凝縮されている。

このような研究をしていると、日ごろデータベースのお世話になることが多い。データベースがないと研究が立ち行かないと言っても過言ではない。化合物の構造とその効き目に関する情報を収集することによって、どのような化合物を作れば効きそうかが見えてくる。またその化合物をどのようにすれば合成することができるか、つまり化合物の合成法を調べることができる。さらにどこの研究機関の誰が関連研究を行っているかをデータベースから知ることができる。

学術論文を検索すると、論文の題名や学術雑誌の巻号とともにおびただしい数の著者名が出てくる。薬学の研究はチームで行うことが多いので、論文はその研究にたずさわった人々全員の共著として発表するのが常である。大学での研究の場合は実験を行った学生とそれを指導した教員が著者ということになるが、複数の研究機関のあいだの大規模な共同研究になると著者が10名を超えることも珍しくない。

自分にとって新しいことを調べようとしてデータベースを検索して出てくる名前のお大半は知らない人である。たまに知った人が混ざっていると、旅先で友人に会ったようで喜ばしい気持ちになる。昔なつかしい人の名前に出会うことがあり、



あの人は今ごろどうしているのだろう、などとし  
ばし感慨にふけることもある。

少し前になるが、研究室のセミナーで4年生が  
K先生という国内の大学の先生の研究論文を取り  
上げ紹介してくれた。私は不勉強にしてK先生に  
ついて存じあげなかったのだが、データベースを  
検索して調べたものであるらしいその研究論文は  
大変興味深いものであった。K先生の実験  
手法は、私たちの研究室で作った「効きそ  
うな化合物」が本当に効くかどうかを調べ  
るのに、きわめて具合がよさそうに思われ  
た。私はその4年生の目のつけどころに感  
心するとともに、K先生にお会いしてディ  
スカッションできないだろうか、できるな  
らば共同研究をさせていただけないだろ  
うかと思った

インターネットで検索すると、K先生のご  
研究は何度も新聞に取り上げられて注目  
を集めていることが分かった。K先生は有  
名な先生であるらしかった。俊英が集ま  
って世界をリードする研究を展開している様  
子がうかがわれた。見ず知らずの私ごときを相手  
にしてくださるだろうかと不安に思った。しかし、  
何か事を思いつくと試してみなくては気がすま  
ない性分である私は、K先生にメールを書いた。す  
ぐに丁寧なお返事が返ってきた。K先生の大学を  
訪れてみると先生は気さくに私を迎えてくださ  
った。K先生には研究上のさまざまな困難を乗り越  
えてきた人の柔軟な強さと優しさがあった。

私たちはこれまで化合物の効き目を調べるため  
に、いろいろな生物活性の専門家との共同研究を  
行ってきた。先輩などから専門家の先生を紹介し  
ていただいて共同研究することが多かった。今回、  
私とK先生を結び付けたのはデータベースであ  
る。データベースを学生が検索して出てきた情報  
をたどり、K先生という人間に行き着いた。

コンピュータの普及はデータベースの他にも私

たちに多くのものをもたらした。いつの頃からか  
ワープロで原稿を書くのが普通になった。ワー  
プロがなかったころは何でも手書きだった。例  
えば研究費の申請書も手書きだった。黒のイン  
クで書くのだが、申請書用紙に予備がなく、一  
度書いたら修正できないので、大げさにいえ  
ば真剣勝負だった。



坂口安吾という小説家が資料や書き損じて丸  
めた原稿用紙の山の中に座ってペンを持ち、丸  
眼鏡ごしにこちらを見ている写真をどこかで  
見たことがある。尋常でない部屋の散らかり  
具合にインパクトがあった。小説家は心を研  
ぎ澄ませ、真理をうがつ一文を新しい原稿  
用紙に書きつける。しかし、書くうちにだ  
んだん書いていることが本当でないように  
思われてきて、苦心して書いたものをく  
しゃくしゃに丸めて投げ捨てる。紙くず  
の山はそうしてできたものであろう。部屋  
を掃除して新たな気持ちで書くのが良い  
という考えもあるが、周囲に散らばるく  
しゃくしゃに丸めた原稿用紙の、書き  
損じとと思っていた文章がじわじわと迫  
ってきて、小説家が新たに書きつける  
文字の力になっているようにも思われる。

いまでは原稿用紙もペンも膨大な資料も1台の



ノートパソコンに納まってしまふ。書き損じの原稿用紙を丸めて捨てなくとも、Deleteキーできれいに消し去ることができる。私の場合、ワープロを用いるようになってから、ペンで紙に書いていた頃に比べて、良い意味でも悪い意味でも、楽な気持ちで文章を書くようになったと思う。ワープロを使うと文章をどのようにでも直せるので、初めの下書きはいい加減に書いてしまふ。いまひとつだと思っても、とにかく入力してしまふ。それを、あちこち手直しし、あるいは頭尾を入れ替えるような大改造をほどこすなどして、起承転結の納まりのよい、過不足のない文章にする。手で書く場合、削除・復元などのパソコン操作ができないので、初めから完成された文章を書かなければならない。ワープロを使うようになってそれをしなくなった。その代わりに、入力した文章に気のすむまで手を入れる。私の手書きの文章には、自分にしかわからない苦渋のあとが残っているが、

ワープロで書いた文章にはそれがあまりない。

実験の1回1回は紙に万年筆で書いた文字と同じで、消せないものである。実験が思った結果にならず、くしゃくしゃに丸めてぼいと捨ててしまったとしても、実験して起こった事実であるから消すことはできないし、消してはならない。丸めた紙はデータベースに収録されないが、人間の中に残って研究者を作る。

うまくいったところだけをよせ集めて「大成功」と言っても嘘を言ったことにはならないのだろうが、うまくいかなかったところもうまくいったところと同じように本当である。研究するとは、くしゃくしゃに丸めた原稿用紙を横目でにらみながら文章を綴ることなのかも知れない。今、K先生は私たちの化合物の効き目を検討してくださっている。効く化合物は1000のうち3つぐらいである。結果はまだ出ない。待つ間が楽しい。

おおつか まさみ 薬学部分館長・大学院医学薬学研究部教授

## CSI事業と学術機関リポジトリの構築



平成19年1月15日(月)にくすの木会館レセプションルームで平成18年度熊本県大学図書館協議会セミナーを開催しました。

このセミナーは熊本県内13の大学・高専図書館で組織する熊本県大学図書館協議会が毎年行っているもので、今回はNII国立情報学研究所から開発・事業部長(教授)の安達 淳氏を講師に迎え、「CSI事業と学術機関リポジトリの構築」をテーマに講演していただきました。

➤ NII国立情報学研究所 <http://www.nii.ac.jp/>

## 日誌 (平成18年11月～19年2月)

11/3 熊本大学ホームカミングデー  
11/7 学術リポジトリ説明会 (医学部)  
11/14 第4回医学系分館運営委員会  
11/15 学術リポジトリ説明会 (法学部)  
11/16-17 共同ワークショップ「日本の機関リ  
ポジトリの今2006」(千葉大学)  
11/20-22 第8回図書館総合展 (横浜市)  
11/21 第3回附属図書館専門委員会  
11/21-22 平成18年度NAIST電子図書館学講座  
(奈良先端科学技術大学院大学)  
11/22 第5回附属図書館係長会議  
11/28 第5回附属図書館運営委員会  
11/29-12/12 図書館ガイダンス中級編  
11/30 九州地区国立大学附属図書館長・事  
務(部・課)長等会議(九州大学)  
12/5 第14回九州地区医学図書館員セミナ  
ー(熊本大学)  
12/11 第6回係長会議  
12/15 第4回附属図書館専門委員会  
12/18 第6回附属図書館運営委員会  
12/18-19 「デジタル巨人の肩の上に立つ」国  
際シンポジウム(東京都)  
12/22 第2回阿蘇家文書修復完成記念展実  
行委員会(熊本県立美術館)  
12/28 第1回医学部図書講義棟WG図書館部  
会  
1/4 第7回附属図書館係長会議  
1/9 第2回医学部図書講義棟WG図書館部  
会  
1/15 熊本県大学図書館協議会セミナー  
(熊本大学)  
1/16 第5回医学系分館運営委員会  
1/20-21 大学入試センター試験  
1/22-26 会計検査

1/31 第3回医学部図書講義棟WG図書館部会  
2/1 図書館システム・リプレース  
新PCコーナー運用開始  
2/8 附属図書館長候補選考委員会  
2/21 医学系分館長候補者選挙  
2/22 第8回附属図書館係長会議  
2/23 琉球大学学術リポジトリ国際講演会  
(琉球大学)  
2/25-26 熊本大学個別学力検査(前期日程)

## 人事異動 (平成18年3月～19年2月)

- 転入(平成18年4月1日付)  
図書館サービス課電子サービス係長  
濱崎 千雅(八代工業高等専門学校)
- 転出(平成18年4月1日付)  
八代工業高等専門学校  
田川登紀子(学術情報課雑誌情報係)

---

### 東光原：熊本大学附属図書館報 第47号 平成19年3月刊

発行 熊本大学附属図書館  
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40番1号  
Tel. 096(342)2273 Fax. 096(342)2210  
編集 浦田博臣 杉本孝之 笠 彩子  
URL <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/tokogen/>

---